

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 5 日

熊本県知事 殿

提出者

住所 熊本県球磨郡五木村甲1046番地9

氏名 株式会社 技建日本
代表取締役 堀川匠太

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0966-37-2311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 技建日本
事業場の所在地	熊本県球磨郡五木村甲1046番地9
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 3 月 31 日 まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	建設業(総合建設業)		
② 事業の規模	元請完成工事高(前年度実績)	¥2,628,887,000 .-	
③ 従業員数	77人		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR A[当社施工現場] --> B[委託処理業者] B --> C[中間処分場] C --> D[最終処分場] subgraph Waste_Types [Waste Types] W1[コンクリート・アスファルト殻] W2[木くず] W3[廃プラスチック] W4[金属くず] W5[がれき類] W6[ガラス・陶磁器くず] W7[混合廃棄物] end subgraph Intermediate_Disposal [中間処分場] I1[破碎] I2[破碎・焼却] I3[破碎・分級] I4[選別] I5[破碎・分級] I6[選別] I7[選別] end subgraph Final_Disposal [最終処分場] F1[再生資材] F2[堆肥化 安定型埋立] F3[燃料材料 リサイクル原料] F4[リサイクル原料] F5[安定型埋立 再生資材] F6[リサイクル原料 安定型埋立] F7[リサイクル原料 燃料 堆肥化 安定型埋立] end W1 --> I1 --> F1 W2 --> I2 --> F2 W3 --> I3 --> F3 W4 --> I4 --> F4 W5 --> I5 --> F5 W6 --> I6 --> F6 W7 --> I7 --> F7 </pre>		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

① 現状	産業廃棄物の種類	コン殻	アスコン殻	その他の瓦礫	廃プラスチック	ガラス・陶磁器類	石膏ボード	繊維くず	木くず
	排出量	9,467.670 t	1,290.310 t	36.660 t	29.340 t	108.230 t	6.720 t	0.000 t	474.107 t
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	建設汚泥	石綿含有廃棄物	水銀使用製品	金属	燃えがら	廃油	
	排出量	18.462 t	12.690 t	53.700 t	30.300 t	84.800 t	0.230 t	19.980 t	t

(これまでに実施した取組)

適切に処分業者を選定し処分を委託している。

【目標】

② 計画	産業廃棄物の種類	コン殻	アスコン殻	その他の瓦礫	廃プラスチック	ガラス・陶磁器類	石膏ボード	繊維くず	木くず
	排出量	4,000 t	550 t	20 t	15 t	50 t	5 t	0 t	300 t
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	建設汚泥	石綿含有廃棄物	水銀使用製品	金属	燃えがら	廃油	
	排出量	10 t	5 t	0 t	0 t	40 t	0 t	5 t	t

(今後実施する予定の計画)

分別等を行い 尚一層再資源化に努力するよう心がけていきたい。

本年度は例年になく排出量が多くなった。工事に関係するのでついかたの無いことで有るが、できるだけ分別して再生できるように心がけていきたい。まずは、前年度の半分くらいに排出量を抑える事ができればと思います。

産業廃棄物の分別に関する事項

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

作業所毎に発生した廃棄物は適切に区分して種類ごとに廃棄処分先を選定し速やかに搬出している。

公共工事に於いて発生した廃棄物がほとんどである。(主にコンクリート殻・アスファルト殻・木くず等)

品目事に処分業者を選定し、迅速に搬出するよう心がけている。

混合物はそのほとんどが、工事の際に発生する分別の難しい(モルタルの中に混入しているラスや布等施工に使用されている物)

廃棄物で、それらは適正な業者を選定し処分を行っている。

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

公共工事では、明確に廃棄物の処分に関する規定が工事内容に盛り込んであり、今後も常に適切な処分を行っていく。ごく僅かに発生する混合廃棄物や突発的に発生する廃棄物は適正な処分を行う業者を選定して委託をおこなう。今後も、処分業者の選定は種類ごとに充分に行い、選定した処分業者と打合せの後、速やかに適切な処分(分別)を行うように努めていきたい。

本年度は公共施設や保育園の移転などで旧園舎・旧庁舎の解体工事もあった事から例年になく排出量が多くなった。

ほとんどの割合を占める廃棄物は再生可能なもので、今後もこういった廃棄物は多量に発生することが予想される。

再資源化を念頭に、運搬距離等も考慮して迅速かつ安全に搬出できるよう取り組んでいる。

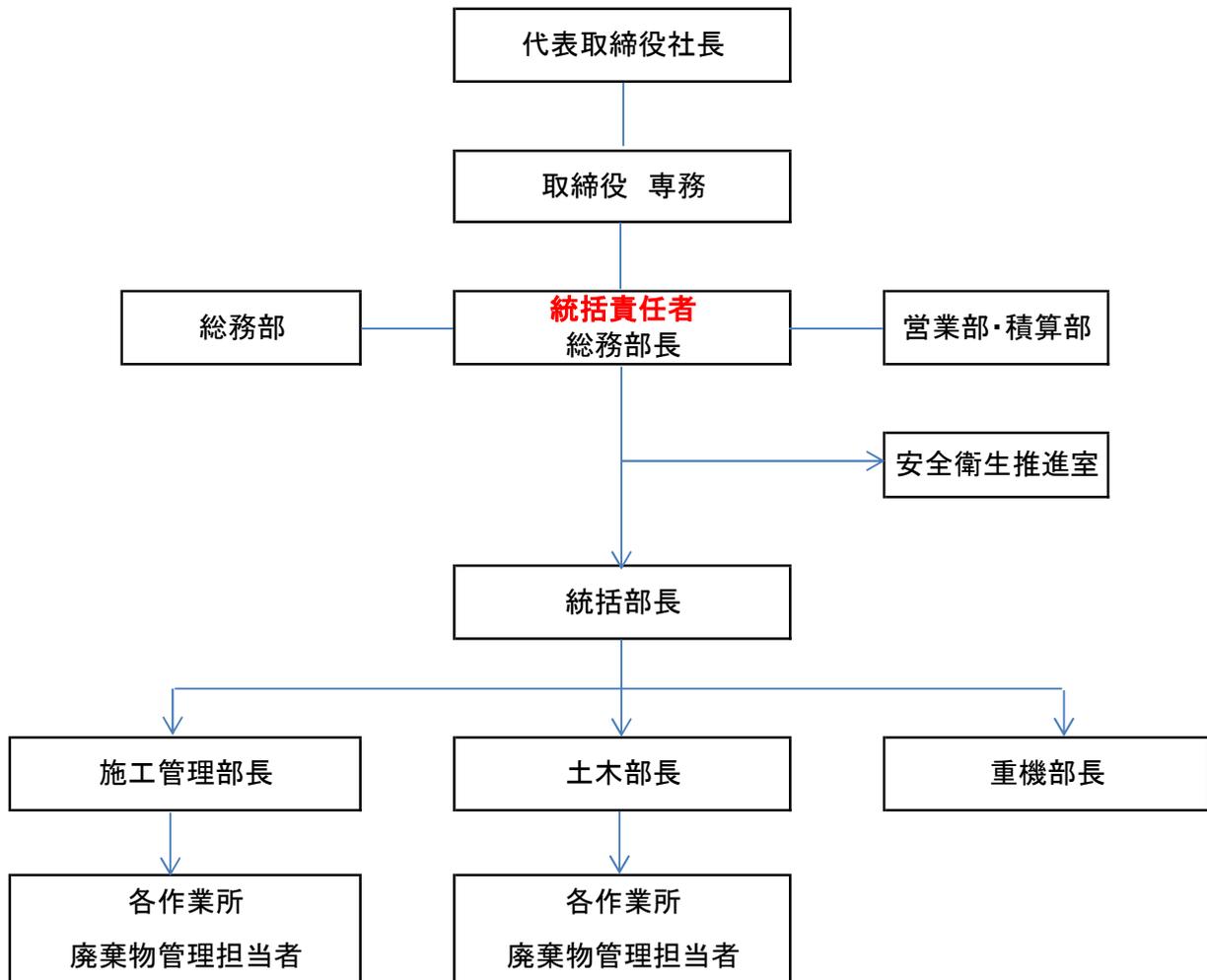
(別紙)

第2面 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 について

(1)責任者及び管理組織図

統括責任者	総務部	総務部長
廃棄物担当	各作業所	監理(主任)技術者及び現場代理人
役割	廃棄物処理統括責任者	1.廃棄物処理方針の策定 2.廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認
	廃棄物管理担当者	1.廃棄物処理計画の作成 2.廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 3.処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 4.委託契約の締結 5.マニフェストの交付・管理 6.監督官庁への報告

廃棄物管理組織図



(2)管理体制の強化

- 1) 毎月の社内パトロールの際に、各作業所の産業廃棄物に関する処理状況を把握し指導する。

(3)教育・研修

- 1) 発生する廃棄物の種類・発生状況・処理方法・処理に関する留意事項を整理し、作業員に定期的に教育・研修を行う。

(4)情報公開

- 1) 会社の産業廃棄物関連情報は、要求があればいつでも公開・閲覧できるようにしておく。

(5)廃棄物の処理に関する事項

- 1) 各作業所において、材料の再利用(仮設材等)を行い、産業廃棄物の排出抑制に努める。
- 2) 各作業所毎に発生したものは、その都度分別を行う。
- 3) 各作業所は、自社運搬及び収集運搬業者にて、中間処理施設に搬出し再生利用する。
- 4) 分別収集により再生利用に努め、最終処分場への搬出は最小限にする。
- 5) 発生した産業廃棄物は、収集運搬から処分に至るまで確認を行的確に管理する。
- 6) 産業廃棄物の適正処理を確保するため、関連する法令・その他の規則を遵守すると共に行政の環境施策に協力する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（年度）実績】		コン殻	アスコン殻	その他の瓦礫	廃プラスチック	ガラス・陶磁器類	石膏ボード	繊維くず	木くず
① 現状	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	建設汚泥	石綿含有廃棄物	水銀使用製品	金属	燃えがら	廃油	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
【目標】		コン殻	アスコン殻	その他の瓦礫	廃プラスチック	ガラス・陶磁器類	石膏ボード	繊維くず	木くず
② 計画	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	建設汚泥	石綿含有廃棄物	水銀使用製品	金属	燃えがら	廃油	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（年度）実績】		コン殻	アスコン殻	その他の瓦礫	廃プラスチック	ガラス・陶磁器類	石膏ボード	繊維くず	木くず
① 現状	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	建設汚泥	石綿含有廃棄物	水銀使用製品	金属	燃えがら	廃油	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
【目標】		コン殻	アスコン殻	その他の瓦礫	廃プラスチック	ガラス・陶磁器類	石膏ボード	繊維くず	木くず
② 計画	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	建設汚泥	石綿含有廃棄物	水銀使用製品	金属	燃えがら	廃油	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度 (年度) 実績】		コン殻	アスコン殻	その他の瓦礫	廃プラスチック	ガラス・陶磁器類	石膏ボード	繊維くず	木くず
① 現状	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	建設汚泥	石綿含有廃棄物	水銀使用製品	金属	燃えがら	廃油	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
【目標】		コン殻	アスコン殻	その他の瓦礫	廃プラスチック	ガラス・陶磁器類	石膏ボード	繊維くず	木くず
② 計画	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	建設汚泥	石綿含有廃棄物	水銀使用製品	金属	燃えがら	廃油	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度 (令和 5 年度) 実績】		コン殻	アスコン殻	その他の瓦礫	廃プラスチック	ガラス・陶磁器類	石膏ボード	繊維くず	木くず
① 現状	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量	9,467.67 t	1,290.31 t	36.66 t	29.34 t	108.23 t	6.72 t	0.00 t	474.107 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	建設汚泥	石綿含有廃棄物	水銀使用製品	金属	燃えがら	廃油	
	全処理委託量	18.462 t	12.69 t	53.70 t	30.300 t	84.800 t	0.230 t	19.980 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
その年に受注する工事により、発生量が大きく変動する。発生量の予測は難しく、受注した工事現場より最も近い搬出先(最短の運搬距離)や再資源化を行う処理業者を選定して委託するよう心がけている。									

① 計 画	【目標】																
	産業廃棄物の種類	コン殻	アスコン殻	その他の瓦 礫	廃プラスチック	ガラス・陶磁器 類	石膏ボード	繊維くず	木くず								
	全処理委託量	4,000	t	550	t	20	t	15	t	50	t	5	t	0	t	300	t
	優良認定処理業者 への処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t
	再生利用業者 への処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t
	認定熱回収業者 への処理委託料		t		t		t		t		t		t		t		t
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物		建設汚泥		石綿含有廃 棄物		水銀使用製 品		金属		燃えがら		廃油			
	全処理委託量	10	t	5	t	0	t	0	t	40	t	0	t	5	t		t
	優良認定処理業者 への処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t
	再生利用業者 への処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t
	認定熱回収業者 への処理委託料		t		t		t		t		t		t		t		t
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t
	(今後実施する予定の取組) 今後も、リデュース・リユース・リサイクルの3Rを念頭に於いて、再資源化に取り組みたい。																
	※事務処理欄																

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書(集計用シート)

提出者の名称	株式会社 技建日本 代表取締役 堀川匠太	提出者の住所	熊本県球磨郡五木村甲1046番地9
事業場の名称	株式会社 技建日本	事業場の所在地	熊本県球磨郡五木村甲1046番地9
内容年度	令和 6 年度		

(単位:トン)

廃棄物の種類	現状 / 計画	排出量 A	自社内での処理状況				委託先での処理状況				
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量			
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J
コン殻	現状	9,467.67	0.00	0.00	0.00	0.00	9,467.67	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	4,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00
アスコン殻	現状	1,290.31	0.00	0.00	0.00	0.00	1,290.31	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	550.00	0.00	0.00	0.00	0.00	550.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他の瓦礫	現状	36.66	0.00	0.00	0.00	0.00	36.66	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00
廃プラスチック	現状	29.34	0.00	0.00	0.00	0.00	29.34	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ガラス・陶磁器類	現状	108.23	0.00	0.00	0.00	0.00	108.23	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00
石膏ボード	現状	6.72	0.00	0.00	0.00	0.00	6.72	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00
繊維くず	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
木くず	現状	474.11	0.00	0.00	0.00	0.00	474.11	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	300.00	0.00	0.00	0.00	0.00	300.00	0.00	0.00	0.00	0.00
混合廃棄物	現状	18.46	0.00	0.00	0.00	0.00	18.46	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00
建設汚泥	現状	12.69	0.00	0.00	0.00	0.00	12.69	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00
石綿含有廃棄物	現状	53.70	0.00	0.00	0.00	0.00	53.70	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
水銀使用製品	現状	30.30	0.00	0.00	0.00	0.00	30.30	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
金属	現状	84.80	0.00	0.00	0.00	0.00	84.80	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	40.00	0.00	0.00	0.00	0.00	40.00	0.00	0.00	0.00	0.00
燃えがら	現状	0.23	0.00	0.00	0.00	0.00	0.23	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
廃油	現状	19.98	0.00	0.00	0.00	0.00	19.98	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	現状	11,633.20	0.00	0.00	0.00	0.00	11,633.20	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	5,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00